

# タイプいろいろ、好みに応じて選択を ～特殊繊維のバスマットの品質～

乾きが速いことから使い心地のよさを強調した、ポリエステル、アクリルのマイクロファイバーや特殊繊維構造のバスマットが人気を集めています。しかし、価格帯も幅広く、実際の使用性についての情報が少ないため、吸水性や速乾性などについてテストしました。

## テスト品

・「マイクロファイバー」「極細繊維」「特殊繊維構造」「吸水加工」などの表示があるバスマット…11銘柄

(以下の3タイプに分類)

- ①モールドタイプ…5銘柄
- ②カットパイルタイプ…3銘柄
- ③アクリルタイプ…3銘柄

・参考品：加工が施されていない綿100%のバスマット…2銘柄

## テスト結果

### ○吸水性

JIS（日本工業規格）の繊維製品吸水性試験方法に従ってテストしました。

いずれの銘柄も綿100%の参考品と比較して同程度、もしくはそれ以上の吸水性を示す銘柄が多い結果でした。電子顕微鏡で繊維を観察したところ、モールドタイプ、カットパイルタイプは直径 $10\mu\text{m}$ （1mmの100分の1）以下の極細繊維が確認され、アクリルタイプには繊維の断面や側面に溝や隙間、穴などの多孔質構造が認められました（写真参照）。ポリエステルやアクリルにはもともと吸水性はありませんがこのような加工で毛細管現象を利用して吸水性を高めていると考えられます。

### ○吸水放置後の湿り感

一定量の水をバスマットに滴下し、30分間

放置後にろ紙、重りを置き、ろ紙が吸いとる水分量を測定しました。モールドタイプは水分量が少なかったのに対し、カットパイルタイプは多く、アクリルタイプは銘柄によりばらつきが認められました。水分量が少なかった銘柄はモニター試験においても湿りを感じないと評価するモニターが多い結果でした。

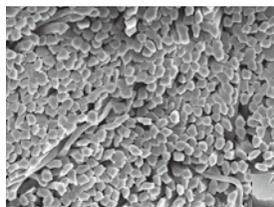
### ○洗濯後の乾きやすさ（平均値）

90%以上乾くのに要する時間は参考品が7時間かかったのに対し、アクリルタイプは3時間50分と最も速く、次いでモールドタイプ4時間54分、カットパイルタイプ6時間40分といずれのタイプも参考品より速く乾く銘柄が多い結果でした。

### ○モニター試験

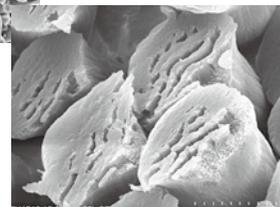
10名（男女各5名）でモニター試験を行ったところ、モールドタイプの評価が高く、10名中6名が「最も気に入った銘柄」に挙げました。理由は「吸水後の湿り感が一番少ない」「家族で連続して使用する場合によい」など。

アクリルタイプは3名が選択しました。「肌触り」ではカットパイルタイプの評価が高かった半面、「吸水放置後の湿り感」は低い結果となりました。



アクリルタイプ  
(No. 9 断面 1500倍)

モールドタイプ  
(No. 1 断面 500倍)



## ●テスト品およびテスト結果

No.	商品名	表示者名	組成	価格(円) 税込	吸水性 (%)※	吸水放置後 の湿り感 (水分量g)	乾燥性
モールドタイプ	1 マイクロファイバーバスマット New SUSU	山崎産業(株)	ポリエステル100%	2,036	399	0.1	4時間
	2 S.D.S マイクロモールドハリー マイクロファイバーバスマット	センコー(株)	ポリエステル100%	1,890	490	0.1	5時間
	3 さらふわバスマット	山崎産業(株)	ポリエステル100%	788	537	0.2	5時間
	4 トップバリュ サラッと吸水バスマット	イオン(株)	ポリエステル100%	598	479	0.2	6時間
	5 瞬間吸水 バスマット	レック(株)	ポリエステル100%	718	603	0.1	4時間30分
モールドタイプ平均				1,206	502	0.1	4時間54分
カットパイルタイプ	6 トップバリュ 吸水バスマット	イオン(株)	ポリエステル100%	1,480	670	1.2	7時間30分
	7 吸in力	(株)カキウチ	ポリエステル100%	971	651	1.0	7時間30分
	8 マイクロファイバーバスマット	(株)ニトリ	ポリエステル100%	399	669	1.1	5時間
カットパイルタイプ平均				950	663	1.1	6時間40分
アクリルタイプ	9 乾度良好 DRY LAND	オカ(株)	アクリル100%	2,036	389	0.1	5時間
	10 バスマット AQUA	(株)ニトリ	アクリル100%	952	638	1.2	3時間30分
	11 バスマット	山崎産業(株)	アクリル100%	1,026	461	1.9	3時間
アクリルタイプ平均				1,338	496	1.1	3時間50分
参考品	12 バスマット	(株)ニトリ	綿100%	599	476	0.2	7時間30分
	13 バスマット	イオン(株)	綿100%	598	243	0.2	6時間30分
参考品平均				599	360	0.2	7時間

※数値が高いほど吸水性が良いことを示す

## 消費者へのアドバイス

・特殊繊維のバスマットは、綿100%の参考品と同等かそれ以上の吸水性があり、洗濯後の乾燥時間も早く、モニター試験でも高い評価でした。タイプによりそれぞれ特徴があります。バスマットを使用する際どんな項目を重視するのか使用人数や環境などに応じて好むものを選択するようにしましょう。

・ポリエステルやアクリルなどの合成繊維は強い素材です。ほかの洗濯物を傷つけるおそれがあるので洗濯ネットを使用し、単品で洗うようにしましょう。吸水性の低下や毛羽落ちの原因になることもあるので、柔軟剤の使用は控えましょう。湿った状態で同じ場所に置き続けるとかびの発生や裏側へ浸透することもあるため、時々場所を変え、床面の水分は十分ふき取ってから使用しましょう。

## タイプ別まとめ



### ①モールドタイプ

ポリエステルのマイクロファイバーをモールド状にしたものです。水分の拡散性がよく吸水放置後の湿り感に優れていることから家族など連続して快適に使用したい場合におすすめです。洗濯後の乾燥性もよくモニター試験においても評価の高いタイプでした。

### ②アクリルタイプ

アクリル繊維に溝や多孔質構造などで吸水性を付与したタイプです。洗濯後の乾燥時間の早さを重視する場合におすすめです。しかし吸水放置後の湿り感銘柄によってばらつきがあり、湿りを感じにくい旨を謳っている銘柄はテスト結果も優れた結果でした。表示等をよく確認しましょう。



### ③カットパイルタイプ

ポリエステルにマイクロファイバーや多角形構造などで吸水性、風合いを付与したタイプです。ふわふわとした肌触りを重視する場合におすすめですが乾燥性と吸水放置後の湿り感が劣る銘柄もありました。